

# デーヴォ ガイド



2020.12.7-13

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

## セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディポジションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

- ①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)
- ②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)
- ③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)
- ④この世にあって何を実践しますか?

10:1 ペルシヤの王クロスの第三年に、ベルテシャツアルと名づけられていたダニエルに、一つのことばが啓示された。そのことばは真実で、大きないくさのことであった。彼はそのことばを理解し、その幻を悟っていた。

10:2 そのころ、私、ダニエルは、三週間の喪に服していた。

10:3 満三週間、私は、ごちそうも食べず、肉もぶどう酒も口にせず、また身に油も塗らなかった。

10:4 第一の月の二十四日に、私はヒデケルという大きな川の岸にいた。

10:5 私が目を上げて、見ると、そこに、ひとりの人がいて、亜麻布の衣を着、腰にはウファズの金の帯を締めていた。

10:6 そのからだは緑柱石のようであり、その顔はいなずまのようであり、その目は燃えるたいまつのようにであった。また、その腕と足は、みがきあげた青銅のようで、そのことばの声は群集の声のようであった。

10:7 この幻は、私、ダニエルひとりだけが見て、私といっしょにいた人々は、その幻を見なかったが、彼らは震え上がって逃げ隠れた。

10:8 私は、ひとり残って、この大きな幻を見たが、私は、うちから力が抜け、顔の輝きもうせ、力を失った。

10:9 私はそのことばの声を聞いた。そのことばの声を聞いたとき、私は意識を失って、うつぶせに地に倒れた。

必要があるのです。

自分は何かを”してきた”または”できる”と  
思っているうちは、主の声を聞いてもむだでしょう。聞くことはできません。また自分は”分かっている”とか”対処できる”などと思っているうちは、まだ神の御心を受け取る用意ができていないのです。

逆に”自分はだめだ”思うようなときこそ、主の前には大きなチャンスなのだと知りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

神の大切なことばを聞く時はこのようなことが起こるものです。すなわち自分の力が無きものとなり、存在さえも無い者の者になるのです。主の前には自分は弱いものでしかないことを自覚させられ



## ➤ 8日 火曜

### ダニエル

10:10 ちょうどそのとき、一つの手が私に触れ、私のひざと手をゆさぶった。

10:11 それから彼は私に言った。「神に愛されている人ダニエルよ。私が今から語ることをよくわきまえよ。そこに立ち上がれ。私は今、あなたに遣わされたのだ。」彼が、このことばを私に語ったとき、私は震えながら立ち上がった。

10:12 彼は私に言った。「恐れるな。ダニエル。あなたが心を定めて悟ろうとし、あなたの神の前でへりくだらうと決めたその初めの日から、あなたのことばは聞かれていたからだ。私が来たのは、あなたのことばのためだ。」

10:13 ペルシヤの国の君が二十一日間、私に向かって立っていたが、そこに、第一の君のひとり、ミカエルが私を助けに来てくれたので、私は彼をペルシヤの王たちのところに残しておき、

10:14 終わりの日にあなたの民に起こることを悟らせるために来たのだ。なお、その日についての幻があるのだが。」

10:15 彼が私にこのようなことを語っている間、私はうつむいていて、何も言えなかった。

10:16 ちょうどそのとき、人の姿をとった者が、私のくちびるに触れた。それで、私は口を開いて話し出し、私に向かって立っていた者に言った。「わが主よ。この幻によって、私は苦痛に襲われ、力を失いました。」

10:17 わが主のしもべが、どうしてわが主と話せましょう。私には、もはや、力もうせてしまい、息も残っていないのです。」

10:18 すると、人間のように見える者が、



再び私に触れ、私を力づけて、  
10:19 言った。「神に愛されている人よ。恐れるな。安心せよ。強くあれ。強くあれ。」彼が私にこう言ったとき、私は奮い立って言った。「わが主よ。お話しください。あなたは私を力づけてくださいましたから。」

10:20 そこで、彼は言った。「私が、なぜあなたのところに来たかを知っているか。今は、ペルシヤの君と戦うために帰って行く。私が出かけると、見よ、ギリシヤの君がやって来る。

10:21 しかし、真理の書に書かれていることを、あなたに知らせよう。あなたがたの君ミカエルのほかには、私とともに奮い立って、彼らに立ち向かう者はひとりもいない。

ダニエルが「心を定めて悟ろう」とし、「神の前でへりくだらう」と決めた、そのときに主は祈りのことばを聞いてくださったとあります。そのように、主の主題というのは人のたましいです。ダニエルが謙遜を示され、従って謙遜になろうとした時点が、神の転換点でした。

私たちは問題や難しい状況を考えてしまいがちですが、神は私たちの信仰の質を問題にされるのです。自分の信仰を見直し、謙遜に神に従う。これが解決への道なのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11:1 ・・私はメディアヤ人ダリヨスの元年に、彼を強くし、彼を力づけるために立ち上がった。・・

11:2 今、私は、あなたに真理を示す。見よ。なお三人の王がペルシャに起こり、第四の者は、ほかのだれよりも、はるかに富む者となる。この者がその富によって強力になったとき、すべてのものを扇動してギリシヤの国に立ち向かわせる。

11:3 ひとりの勇敢な王が起こり、大きな権力をもって治め、彼ののままにふるまう。

11:4 しかし、思いが起こったとき、その国は破れ、天の四方に向けて分割される。それは彼の子孫のものにはならず、また、彼が支配したほどの権力もなく、彼の国は根こぎにされて、その子孫以外のものとなる。

11:5 南の王が強くなる。しかし、その將軍のひとりが彼よりも強くなり、彼の権力よりも大きな権力をもって治める。

11:6 何年かの後、彼らは同盟を結び、和睦をするために南の王の娘が北の王にとつぐが、彼女は勢力をとどめておくことができず、彼の力もとどまらない。この女と、彼女を連れて来た者、彼女を生んだ者、そのころ彼女を力づけた者は、死に渡される。

11:7 しかし、この女の根から一つの芽が起こって、彼に代わり、軍隊を率いて北の王のとりでに攻め入ろうとし、これと戦って勝つ。

11:8 なお、彼は彼らの神々や彼らの鑄た像、および金銀の尊い器を分捕り品としてエジプトに運び去る。彼は何年かの間、北の王から遠ざかっている。

11:9 しかし、北の王は南の王の国に侵入し、

また、自分の地に帰る。

11:10 しかし、その息子たちは、戦いをしかけて、強力なおびたしい大軍を集め、進みに進んで押し流して越えて行き、そうしてまた敵のとりでに戦いをしかける。

11:11 それで、南の王は大いに怒り、出て来て、彼、すなわち北の王と戦う。北の王はおびたしい大軍を起こすが、その大軍は敵の手に渡される。

11:12 その大軍を連れ去ると、南の王の心は高ぶり、数万人を倒す。しかし、勝利を得ない。

11:13 北の王がまた、初めより大きなおびたしい大軍を起こし、何年かの後、大軍勢と多くの武器をもって必ず攻めて来るからである。

11:14 そのころ、多くの者が南の王に反抗して立ち上がり、あなたの民の暴徒たちもまた、高ぶってその幻を実現させようとするが、失敗する。

11:15 しかし、北の王が来て壘を築き、城壁のある町を攻め取ると、南の軍勢は立ち向かうことができず、精兵たちも対抗する力がない。

11:16 そのようにして、これを攻めて来る者は、思うままにふるまう。彼に立ち向かう者はいない。彼は麗しい国にとどまり、彼の手で絶滅しようとする。

11:17 彼は自分の国の総力をあげて攻め入ろうと決意し、まず相手と和睦をし、娘のひとりを与えて、その国を滅ぼそうとする。しかし、そのことは成功せず、彼のためにもならない。

11:18 それで、彼は島々に顔を向けて、その多くを攻め取る。しかし、ひとりの首領が、

彼にそしりをやめさせるばかりか、かえってそのそしりを彼の上に返す。  
11:19 それで、彼は自分の国のとりでに引き返して行くが、つまずき、倒れ、いなくなる。

南の王とはザキセス、北の王とはアンテオコスのことであり、その他の預言も歴史上に事細かに成就しました。ダニエルが神の計画を教えられたのは、彼が謙遜なとりなし手であったからです。また彼は自分ではなく、民を愛してとりなしたからでもあります。

今の世にも教会にもまた滅ぶ人のためにも、このような神の器が求められています。ダニエルのようなとりなし手となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたの中の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11:20 彼に代わって、ひとりの人が起こる。彼は輝かしい国に、税を取り立てる者を行き巡らす。数日のうちに、怒りにもよらず、戦いにもよらないで、破られる。

11:21 彼に代わって、ひとりの卑劣な者が起こる。彼には国の尊厳は与えられないが、彼は不意にやって来て、巧言を使って国を強く握る。

11:22 洪水のような軍勢も、彼によって一掃され、打ち砕かれ、契約の君主もまた、打ち砕かれる。

11:23 彼は、同盟しては、これを欺き、ますます小国の間で勢力を得る。

11:24 彼は不意に州の肥沃な地域に侵入し、彼の父たちも、父の父たちもしなかったことを行なう。彼は、そのかすめ奪った物、分捕り物、財宝を、彼らの間で分け合う。彼はたくらみを設けて、要塞を攻めるが、それは、時が来るまでのことである。

11:25 彼は勢力と勇気を駆り立て、大軍勢を率いて南の王に立ち向かう。南の王もまた、非常に強い大軍勢を率い、奮い立ってこれと戦う。しかし、彼は抵抗することができなくなる。彼に対してたくらみを設ける者たちがあるからである。

11:26 彼のごちそうを食べる者たちが彼を滅ぼし、彼の軍勢は押し流され、多くの者が刺し殺されて倒れる。

11:27 このふたりの王は、心では悪事を計りながら、一つ食卓につき、まやかしを言うが、成功しない。その終わりは、まだ定めの時にかかっているからだ。

11:28 彼は多くの財宝を携えて自分の国に帰

るが、彼の心は聖なる契約を敵視して、ほしいままにふるまい、自分の国に帰る。

11:29 定めの時になって、彼は再び南へ攻めて行くが、この二度目は、初めのときのようにではない。

11:30 キティムの船が彼に立ち向かって来るので、彼は落胆して引き返し、聖なる契約にいきりたち、ほしいままにふるまう。彼は帰って行って、その聖なる契約を捨てた者たちを重く取り立てるようになる。

11:31 彼の軍隊は立ち上がり、聖所ととりでを汚し、常供のささげ物を取り除き、荒らす忌むべきものを据える。

11:32 彼は契約を犯す者たちを巧言をもって墮落させるが、自分の神を知る人たちは、強く立って事を行なう。

11:33 民の中の思慮深い人たちは、多くの人を悟らせる。彼らは、長い間、剣にかかり、火に焼かれ、とりことなり、かすめ奪われて倒れる。

11:34 彼らが倒れるとき、彼らへの助けは少ないが、多くの人は、巧言を使って思慮深い人につく。

11:35 思慮深い人のうちのある者は、終わりの時までには彼らを練り、清め、白くするために倒れるが、それは、定めの時はまだ来ないからである。

21節からはアンテオカス・エピファネスのことが語られています。アレキサンダー大王の死後、そのギリシャ帝国が4つに分かれましたが、その一つです。南の王とはエジプトのことで、両者の争いが記されています。

彼はイスラエルの「聖なる契約」を敵視して、「ほしいままにふるまい」ました。エルサレムの民8万人を殺し、4万人を捕虜とし、4万人を奴

隷として売ったのでした。さらには「キティム」でローマに敗れた腹いせに、またエルサレムで暴虐を行ったのでした。

それによって「思慮深い」信仰の人は、「練り、清め」られるとあります。暴虐にでさえ、主の深い御心があることを覚えて、希望を持ち、ゆだねてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？





## 11日 金曜

### ダニエル

11:36 この王は、思いのままにふるまい、すべての神よりも自分を高め、大いなるものとし、神の神に向かってあきれ果てるようなことを語り、憤りが終わるまで栄える。定められていることが、なされるからである。

11:37 彼は、先祖の神々を心にかけず、女たちの慕うものも、どんな神々も心にかけない。すべてにまさって自分を大きいものとするからだ。

11:38 その代わりに、彼はとりでの神をあがめ、金、銀、宝石、宝物で、彼の先祖たちの知らなかった神をあがめる。

11:39 彼は外国の神の助けによって、城壁のあるとりでを取り、彼が認める者には、榮譽を増し加え、多くのものを治めさせ、代価として国土を分け与える。

11:40 終わりの時に、南の王が彼と戦いを交える。北の王は戦車、騎兵、および大船団を率いて、彼を襲撃し、国々に侵入し、押し流して越えて行く。

11:41 彼は美しい国に攻め入り、多くの国々が倒れる。しかし、エドムとモアブ、またアモン人のおもだった人々は、彼の手から逃げる。

11:42 彼は国々に手を伸ばし、エジプトの国ものがれることはない。

11:43 彼は金銀の秘蔵物と、エジプトのすべての宝物を手に入れ、ルブ人とクシュ人が彼につき従う。

11:44 しかし、東と北からの知らせが彼を脅かす。彼は、多くの者を絶滅しようとして、激しく怒って出て行く。

11:45 彼は、海と聖なる美しい山との間に、



本営の天幕を張る。しかし、ついに彼の終わりが来て、彼を助ける者はひとりもない。

アンテオカス・エピファネス王は自らをジュピター神とし、礼拝させました。しかし「終わりの時」があり、「ついに彼の終わりが来て、彼を助ける者はひとりもない」ということになります。彼は自国に帰った後に、苦しい病で死亡しました。

ダニエルの預言は、イエス様が言及されたように、終末に起こることが含まれています。後の世にも同じようなことが起こることです。現代も、また私たちの身にも類似したことがあるでしょう。権力者の横暴によって苦しめられることがあるのです。

そのような時には、イスラエルが他国に頼っても無駄であったように、私たちも人に頼っても失望してしまいます。神様は人の手によらずとも、現実を変えてくださいますから、その主に聞き、希望を持って頼りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたの中の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



12:1 その時、あなたの国の人々を守る大いなる君、ミカエルが立ち上がる。国が始まって以来、その時まで、かつてなかったほどの苦難の時が来る。しかし、その時、あなたの民で、あの書にしろされている者はすべて救われる。

12:2 地のちりの中に眠っている者のうち、多くの者が目をさます。ある者は永遠のいのちに、ある者はそしりと永遠の忌みに。

12:3 思慮深い人々は天空の輝きのように輝き、多くの者を義とした者は、世々限りなく、星のようになる。

12:4 ダニエルよ。あなたは終わりの時まで、このことばを秘めておき、この書を封じておけ。多くの者は知識を増そうと探り回ろう。」

12:5 私、ダニエルが見ていると、見よ、ふたりの人が立っていて、ひとり川のこちら岸に、ほかのひとは川の向こう岸にいた。

12:6 それで私は、川の水の上にいる、あの亜麻布の衣を着た人に言った。「この不思議なことは、いつになって終わるのですか。」

12:7 すると私は、川の水の上にいる、あの亜麻布の衣を着た人が語るのを聞いた。彼は、その右手と左手を天に向けて上げ、永遠に生きる方をさして誓って言った。「それは、ひと時とふた時と半時である。聖なる民の勢力を打ち砕くことが終わったとき、これらすべてのことが成就する。」

12:8 私はこれを聞いたが、悟ることができなかった。そこで、私は尋ねた。「わが主よ。この終わりは、どうなるのでしょうか。」

12:9 彼は言った。「ダニエルよ。行け。この

ことばは、終わりの時まで、秘められ、封じられているからだ。

12:10 多くの者は、身を清め、白くし、こうして練られる。悪者どもは悪を行ない、ひとりも悟る者がいない。しかし、思慮深い人々は悟る。

12:11 常供のささげ物が取り除かれ、荒らす忌むべきものが据えられる時から千二百九十日がある。

12:12 幸いなことよ。忍んで待ち、千三百三十五日に達する者は。

12:13 あなたは終わりの時まで歩み、休みに入れ。あなたは時の終わりに、あなたの割り当ての地に立つ。」

「ミカエルが立ち上がる」とあります。戦いは主の権威によって、主がなしてくださるのです。この世の力がどんなに大きいように見えても、主の前には何も続くことはできません。

そして本当の戦いと勝利は、終末においてが重要です。「終わりのときまで」とあるように、主の完全な権威のもとに、全世界がさばかれて変えられるときが来るのです。私たちにとっては、地上の生涯の最後かもしれませんし、または地上にいるままで終末を見るかも知れません。

いずれにしても、ダニエルがなめた苦難と、果たした信仰の勝利は、その終わりの日のためであり、私たちにとっても同じなのです。常に主の永遠の勝利との関係で、この世のできごと、この世の権力者を見てゆきましょう。主に最終的は勝利があり、主を信じる私たちに最終的は祝福があることを忘れないように生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1:1 イエス・キリストの使徒ペテロから、  
Pont、ガラテヤ、カパドキヤ、アジア、ビ  
テニヤに散って寄留している、選ばれた人々、  
すなわち、

1:2 父なる神の予知に従い、御霊の聖めに  
よって、イエス・キリストに従うように、ま  
たその血の注ぎかけを受けるように選ばれた  
人々へ。どうか、恵みと平安が、あなたがた  
の上にありますように豊かにされますように。

1:3 私たちの主イエス・キリストの父なる  
神がほめたたえられますように。神は、ご自  
分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリ  
ストが死者の中からよみがえられたことによ  
って、私たちを新しく生まれさせて、生ける  
望みを持つようにしてくださいました。

1:4 また、朽ちることも汚れることも、消え  
て行くこともない資産を受け継ぐようにして  
くださいました。これはあなたがたのために、  
天にたくわえられているのです。

1:5 あなたがたは、信仰により、神の御力に  
よって守られており、終わりのときに現われ  
るように用意されている救いをいただくの  
です。

1:6 そういふわけで、あなたがたは大いに  
喜んでます。いまは、しばらくの間、さま  
ざまの試練の中で、悲しまなければなら  
ないのですが、

1:7 信仰の試練は、火を通して精練されても  
なお朽ちて行く金よりも尊いのであって、イ  
エス・キリストの現われのときに称賛と光栄  
と栄誉に至るものであることがわかります。

1:8 あなたがたはイエス・キリストを見たこ  
とはないけれども愛しており、いま見てはい

ないけれども信じており、ことばに尽くす  
ことのできない、栄えに満ちた喜びにお  
どっています。

1:9 これは、信仰の結果である、たましいの  
救いを得ているからです。

1:10 この救いについては、あなたがたに対  
する恵みについて預言した預言者たちも、  
熱心に尋ね、細かく調べました。

1:11 彼らは、自分たちのうちにおられるキ  
リストの御霊が、キリストの苦難とそれに  
続く栄光を前もってあかしされたとき、だ  
れかを、また、どのような時をさして言われ  
たのかを調べたのです。

1:12 彼らは、それらのことが、自分たちの  
ためではなく、あなたがたのための奉仕で  
あるとの啓示を受けました。そして今や、  
それらのことは、天から送られた聖霊に  
よってあなたがたに福音を語った人々を通  
して、あなたがたに告げ知らされたのです。  
それは御使いたちもはっきり見たいと願っ  
ていることなのです。

ペテロの手紙は、迫害にあるクリスチャンに信  
仰の励ましたを与えるために書かれた、という目  
的があります。その一番の励ましたは「神は、ご  
自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリ  
ストが死者の中からよみがえられたことによ  
って、私たちを新しく生まれさせて、生ける望みを持  
つようにしてくださいました。

1:4 また、朽ちることも汚れることも、消えて行  
くこともない資産を受け継ぐようにしてください  
ました。これはあなたがたのために、天にたくわ  
えられているのです。

1:5 あなたがたは、信仰により、神の御力によ  
って守られており、終わりのときに現わされるよ  
うに用意されている救いをいただくのです。」とい  
う、救いの恵みです。

私たちが互いのために励ましあうことが必  
要です。そのときには、救いのすばらしさを  
何よりもまず、明らかにして、主を見上げる  
ことから始めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の  
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願  
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなた  
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

